

## 令和2年度事業計画書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人NPO高等専修教育支援協会

### 1. 事業実施の方針

青少年に対して、正しい勤労観及び職業観を育てる基本方針に基づいて事業を計画する。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
職業教育	『総合的な学習の時間』 (出張授業・上級学校説明会派遣等)支援	随時	各都県中学校・ 会員校他	各回 2~5	中学校 生徒・教員 保護者	0
	第16回『私のしごと』 作文コンクール後援	5/7-7/18 11/23	アルカディア市ヶ谷 表彰式	1	生徒 約4,000	50
進路相談	相談会(東京都)の開催	06/28 07/12 09/13 09/27	調布文化会館 国分寺プラザ すみだ産業会館 プラッツ府中	18	生徒・保護 者約50	0
研究・研修	第34回中専協夏季研修 会(情報誌配付・研修)	08/05	アルカディア市ヶ谷	30	中学・専修 教員他70	100
	全国専修・各種学校総連 合会南関東ブロック会議	10/30	横浜崎陽軒	1	協会役員	0
	進路指導・キャリア教育 研究協議全国大会	未定	国立オリンピック記 念青少年センター	1	中学校高校 教員他	3
イベント	スポーツイベントの 開催(第30回) (公財JKA補助事業)	年1回 8/25~27	山梨県(富士北 麓公園他)	50	高等専修 学校生徒 約750	19,559
	優秀生徒表彰	3月	各会員校	1	会員校	30
	卒業式及び入学式祝文	3月	各会員校	1	会員校	40
	スポーツ吹矢の振興	随時	各会員校	5~10	学校教員・ 生徒100	30
	全国体育大会記念誌 『あゆみ』700部予定	12月発行	各会員校	5	各会員校関 係者	1,400

#### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支出見込み額(千円)
なし					

令和2年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人NPO高等専修教育支援協会

(単位:円)

科 目	金 額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1. 会費・入金収入		
(1) 入金収入	10,000	
(2) 会費収入	620,000	630,000
2. 事業収入		
(1) 職業教育事業収入	0	
(2) 進路相談事業収入	0	
(3) 研究・研修事業収入	0	
(4) イベント事業収入	10,013,400	10,013,400
3. 補助金収入		
(1) 公益財団法人JKA助成金収入	9,546,000	
(2) 民間助成金収入	0	9,546,000
4. 寄付金収入		0
5. その他収入		
(1) 利息収入	10	10
6. その他の事業会計からの繰入		0
当期収入(経常収入)合計(A)		20,189,410
II 経常支出の部		
1. 事業費		
(1) 職業教育事業費	50,000	
(2) 進路相談事業費	0	
(3) 研究・研修事業費	100,000	
(4) イベント事業費	21,059,400	21,209,400
2. 管理費		
(1) 消耗品費	15,000	
(2) 光熱水費	3,600	
(3) 旅費交通費	20,000	
(4) 通信運搬費	50,000	
(5) 印刷製本費	15,000	
(6) 広告宣伝費	3,000	
(7) 渉外費	30,000	
(8) 新聞図書費	1,000	

(9) 公租公課	1,000		
(10) 会議費	60,000		
(11) 報酬委託手数料	80,000	278,600	
3. 予備費		50,000	
当期支出(経常支出)合計(B)			21,538,000
当期収支(経常収支)差額(C)=(A)-(B)			△ 1,348,590
Ⅲ その他資金収入の部			
その他資金収入合計(D)			0
Ⅳ その他資金支出の部			
その他資金支出合計(E)			0
当期収支差額(F)=(C)+(D)-(E)			△ 1,348,590
前期繰越収支差額(G)			4,015,850
次期繰越収支差額(F)+(G)			2,667,260
(正味財産増減の部)			
Ⅴ 正味財産増加の部			
1. 資産増加額			
当期収支差額(収入超過額)(F)			
2. 負債減少額		0	
増加額合計(H)			0
Ⅵ 正味財産減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額(支出超過額)(F)		1,348,590	
2. 負債増加額		0	
減少額合計(I)			1,348,590
当期正味財産増加額(J)=(H)-(I)			△ 1,348,590
前期繰越正味財産額(K)			4,015,850
当期正味財産合計(J)+(K)			2,667,260